

<子供たちが育んでいってほしいカ>

すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力

持続可能性 Well-being 共生社会



子供と大人の10+の姿

子供・学校・家庭・地域からの声を凝縮した、日野市の学校教育にかかわるみんなで共有したい姿

<みんなの姿>
自分と他者の多様な個性を認め合い、安心の下で挑戦し失敗し、ねばり強く乗り越える姿
インクルージョン

<みんなの姿>
変化を起こすために自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する姿
学びの羅針盤

<みんなの姿>
自分たちで考え、語り合い学び合い、違いを力に世界を広げ、学び続ける姿
対話

<学校の姿>
目指す学校像に向け、チームとして協働し、学び合い、成長を実感できる姿
教職員の学び・協働・成長

<学校の姿>
子供たち一人ひとりの多様な学びと学び方の選択・学び合いを支える姿
多様な学び・子供の選択

<学校の姿>
子供たち全員の居場所と参画・活躍の機会を支える姿
居場所、活躍

<学校の姿>
教職員が安心して挑戦でき、様々な関係者から応援される姿
挑戦、応援される学校

<家庭・地域の姿>
生き生きとした‘自分たちの学校’に向けて、見守り、応援し、ともに行動する姿
見守り・応援・協働

<家庭・地域の姿>
ありのままを認め、生き生きと遊び、学べる環境を支える姿
尊重・舞台

<地域・企業・大学の姿>
ホンモノの体験・ホンモノの感動を共に味わう姿
ホンモノ

3つの基本方針

10+の姿から導き出される、関係者みんなで共有する方針

みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる

みんなの多様な学びと多様なしあわせをつくる

社会と未来に開き、みんなで作る

8+のプロジェクト

力・姿・基本方針を踏まえた、関係者それぞれが主体となる具体的な活動

「子供たちがつくる学校」プロジェクト
子供たちが当事者として参画し、意見し、対話し、学校における営みをつくる活動を支える、子供や学校が主体の取組

「学びの変革」プロジェクト
一人ひとりの多様な学び方を身に付け、探究的に深く学べるようにする、学校が主体の取組 (子供、教職員の双方の学びを含む)

「〇〇」プロジェクト
「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく」ことにつながる、〇〇が主体の取組

「地域共創」プロジェクト
地域から世界を学びの舞台として、大学・企業等を含めた様々な大人とのかかわりの中で遊ぶことにつながる、地域、家庭や企業・大学が主体の取組

「安心できる学校」プロジェクト
自分と他者の多様な個性を前提に、子供たち全員の居場所と活躍の場を支える、学校が主体の取組

推進方策

構想を推進するための仕掛け

「学校を支える」プロジェクト
学校の選択や挑戦の基盤を整え、意欲ある取組を支える、行政が主体の取組 (具体例)
・第四次学校教育基本構想に基づく多様なプロジェクトへの支援
・働き方改革の推進
・学校支援体制の整備
・施設環境の整備

「多様な学びと学び方」プロジェクト
特別支援教育や不登校をはじめとする、子供たちの多様なニーズを支える、行政が主体の取組 (具体例)
・教育支援センター機能の充実
・発達教育支援センター機能の充実
・専門家による支援の強化
・福祉政策、子ども政策を含む関係機関との連携体制の強化

「教育DX」プロジェクト
社会変革のエンジンであるデジタル技術を最大限生かして子供たちの学びや学校を支える、行政が主体の取組 (具体例)
・情報活用能力の育成、強化
・校務支援システム、かしのきシート改善、子供のSOSを把握する仕組みなど、学校デジタル環境の整備・充実
・教員の資質能力の向上、強化

「スクールコミュニティ」プロジェクト
学校と地域・企業・大学等が出会いにつながる場面を支える、行政が主体の取組 (具体例)
・コミュニティスクールの充実
・地域学校協働本部の充実
・学校施設の活用促進
・部活動改革の推進

<行政>

- ・ 下段の4つのプロジェクトすべてについて、年度ごとに、その推進のための方策を「年度重点施策」に位置付け、「教育委員会評価」で活用・改善
- ・ 子供・学校・家庭・地域のプロジェクトを支援

<学校>

- ・ 年度ごとに、学校として重点的に取り組むプロジェクトを選択・更新又は新たに立ち上げ、「学校経営方針」のもとに具体的な方策として位置付け、「学校評価」で活用・改善 (指標例を活用)
- ・ 教職員による第4次学校教育基本構想に基づく取組の共有

<家庭・地域等>

- ・ 学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA、企業、大学などを主体とした多種多様なプロジェクトを「地域共創プロジェクト」として位置付け、取組を共有・発信 (任意)

行政、学校、家庭・地域の年度ごとの取組を、第4次学校教育基本構想の推進方策として一体として位置付け

構想の土台

年度ごとの実践の積み重ね

一律一斉の学びから 自分に合った多様な学びと学び方へ 自分たちで考え語り合いながら生み出す学び合いと活動へ わくわくが広がっていく環境のデザインへ

第3次日野市学校教育基本構想(H31-R5)に基づく実践の積み重ね・成果



50+回のワークショップ

14,000+人の声